

## 《第58回》 秋津2 - 1町内子ども会「秋祭り」 育成会会長 山内里子

令和4年10月10日(月)10時～12時まで、町内にある、秋津老人憩いの家で「秋祭り」と題して、みんなで手作りのゲームをして楽しみました。

参加者は児童7人、幼児6人、保護者9人です。

ゲームは

- ※割り箸射的
  - ※ペットボトル輪投げ
  - ※ダンボールフリスビー
  - ※ピンポン投げゲーム
  - ※お菓子釣り
- の5種類です。



お菓子つりは好きなお菓子を、チラシで作った釣竿で釣ります。

ゲームはそれぞれ点数をつけて、最後に合計点の高い子どもから景品のオモチャを選びました。

学年ごとにハンデをつけたので、低学年や幼児でも高得点を取ることが出来ました。

- なるべくお金をかけず、身近にあるものでみんなでゲームを作る。
- 出来る人が出来ることを出来る範囲で。

ということをもっとに、お手伝い出来る方を事前に募集して、保護者も子供も一緒にゲームを作成しました。

当日も保護者の方にそれぞれのゲームを担当をしていただいて、最終的にはみんなで協力して出来たお祭りでした。

初めての試みでしたが、保護者の皆さんがとても協力的で、いろいろ助けあって出来たのがよかったです。

### 《割り箸射的》



## 《ペットボトル輪投げ》



## 《ダンボールフリスビー》



## 《ピンポン投げゲーム》



## 《お菓子釣り》



### 《事務局から》

事務局長 白石和典

- ① 早速の活動報告有り難うございました。5種類のゲーム全てが保護者と子ども達で一緒になって作られたという事に感動しています。おそらく、みんなで、「ああしよう、こうしよう」といろいろな思いを膨らませながら作られたのではないのでしょうか。大人の支援のもと、自分で考え、自分で作りそれを自分で使うその達成感は何物にも代えがたいことだと思います。市子協総会時の講演で関西大学次世代博士研究員の田中晶子先生が、「動機づけを高める3欲求」として、「1自分で決めた、2達成感があった、3友達と一緒に・大人が見守って」と話されましたが、この活動は正にその実践例だと思います。おそらくこの経験が、子ども達のこれからの子ども会活動だけでなく、色々な活動に活かされていくことでしょう。
- ② 活動のモットー ○……身近にある物で……、○出来る人が出来ることを……もなかなかいいですね。今の世の大人にも子どもにも投げかける価値のある事だと思います。皆の思いが一つになって今回のように絆を深め、協力して活動が出来たと思います。皆さんの行動力に敬意を表します。
- ③ 秋津2-1町内子ども会の益々のご活躍と、子ども達の健やかな成長をお祈りいたします。